

● 8月20日(土)～8月21日(日) 曇/晴 松前観光～青森へ

○ 今日はフェリー待ちの一日。松前への観光で時間を潰し、明日早朝のフェリーで青森へ渡る。

・明早朝函館からフェリーで帰途につく。今日一日フェリー待ちでフリーだがなにも予定が無くやることない。天気予報では北海道南部に前線が停滞中で台風がその前線に向けて北上中、明日道央・道東方面に上陸の可能性があるという。前線の影響でこれから一週間は天気がぐずつくらしい。北海道を引き上げるベストタイミングだが、台風でフェリーが欠航なんていうことになったら帰れない。天気予報と睨めっこで無事帰れることを祈っている。

・今日のはんびり6時過ぎに起床した。木古内は曇っているが風もなく穏やかだ。朝食をとってから、さて今日の行動はどうしよう?! 少し西に走れば数年前に大千軒岳に登った時に寄った松前があり、良い印象の街だったので松前へ行って遊んで来ようと思った。11時まえに木古内駅を出て国道228号線を西に向かって走った。津軽海峡の海岸線を走る気持ちの良い道で、西に行くに従って天気が良くなり、松前に着いた時はすっかり晴れ上がり、強烈な日差しで迎えられた。

我慢できないほどの暑さだ。

・道の駅「北前船 松前」に飛び込んで暑さを逃れた。ちょうど昼時なので食堂で「本まぐろのミニ丼」を食べた。まぐろ3切れが乗った本当に小さな丼だが、私にはちょうどいい量で、久々に食べた本マグロが旨かった。

・食後は松前観光で、まず松前城へ行ったが松前城は以前にも入ったし、日差しが暑くてとても外を歩くような状態ではないので入場観光はやめて、近くのお寺の木陰に車を止めて、のんびり休憩した。



・記憶を頼りに松前へやって来たが、期待したほど面白いところも無かったので、早々3時前に松前を切り上げて木古内へ向けて、来た道に戻った。

・帰りは右手に津軽海峡の海岸線を見ながらのんびりと走った。

この海岸線は「松前矢越道立自然公園」でなかなかすばらしい眺めだ。



・帰り途中「横綱の里・福島」で「横綱千代の山・千代の富士記念館」に寄った。ここは以前にも寄ったことがあり、面白かった記憶がある。ちょうど九重部屋が夏季合宿中で、ラッキーなことに入場無料だった。朝来ると「朝稽古」が見られるらしい。今は昼なので力士はいないが。



千代の山は知っているし、今年亡くなった、実に若くして亡くなった千代の富士の功績をじっくり鑑賞させてもらった。

・東へ走るに従い天気が悪くなり、木古内はどんよりと曇っている。明早朝 2 時半から乗船受付が始まる。ここから函館港まで 2 時間もかからないのでここを 12 時頃出ればいいのか。それまで仮眠することにした。これから車の運転があるので夕食は珍しくアルコール抜き質素なものとなった。

・天気予報を見ると台風 11 号が明朝 9 時ごろ青森に近づくという。フェリーが欠航になったらどうしよう。空を見上げるとうっすらと月の影が見えるし風もあまりない。フェリーは 4 時半に函館を出て 8 時半に青森港に入る予定だ。まさに台風とぎりぎりの競争であり大丈夫だろうか。車内で横になり仮眠に入ったが心配でなかなか寝付けぬ。予約してある船の 1 本前に 2 時発のフェリーがある。キャンセル待ちがあると聞いたことがある。1 本でも早い方が安全だろう。今から行けば 2 時の便に間に合うぞ。善は急げだ。

・キャンセル待ちに賭けて急いで車をたたみ函館港に向けて出発した。12 時過ぎに函館のフェリー港に着いてキャンセル待ちの手続きをとった。事務所では意外にのんびりしていて台風の影響を心配している様子は全く無い。

・フェリー乗り場には乗船待ちのトラックが溢れていてキャンセル待ちの乗用車が 10 台くらい並んでいる。間もなく青森からのフェリーが入港し、車の下船、トラックの乗船を行い、2 時定刻に出発していった。なんとキャンセル待ちの車は 1 台も乗れず港に置き去りにされた。船はトラックで満車の様だった。

・予約しておいて良かったな。すぐ予約の乗船手続きを行い、正規の乗船位置に並んだ。私が先頭だが私の後に並ぶ車は数台しかいない。何か拍子抜けだな。



これから乗船・私の車が先頭

上空を見ると台風を心配した空は晴れていて、おぼろ月が輝いている。風もなくて海は穏やか、フェリーは予定通り青森へ行けそうだ。

・この便はトラックが少なく船倉にも余裕があり、20台ちかくあったキャンセル待ちの車も全て乗せ、夜が白々と明けてきた函館港を4時半の定刻を少し遅れて出港した。やれやれこれで無事本州へ渡れそうだ。津軽海峡を渡っている時も海は穏やか。青森港まで4時間の航海だ。



函館港を無事出港

・8月21日(日) 8時40分青森港に入港。
天気は良好、晴れていて暑い。



晴天の青森港に入港



・これからの予定は、東北の被災地を通して帰宅し、途中で仙台のN君宅に寄ることになっている。

・まず風呂に入りたいので浅虫温泉に向かった。青森は晴れていたが青森を出るとすぐ台風の影響か雨雲が発生し、浅虫では本降りとなっていた。浅虫には道の駅があるので、そこに温泉があると狙いをつけたが、狙い通り日帰り湯があった。5階建てビルの最上階が温泉で、泉質の柔らかい良い湯だった。



・風呂に入って生気を取り戻し、最終章となる陸奥の旅へと出発した。

雨の中南下して七戸の道の駅へ。これはすごいマンモス駅だ。レストランや食堂や蕎麦屋があり、広い土産物屋があり、スーパーのような野菜売り場、おまけに美術館まである。雨が降っているのに、日曜ということもあるのか人が溢れてごった返している。

・次は南郷の道の駅へ。ここはさっと寄ってから今日の泊まりと決めた花巻の道の駅「東和」へ向かった。

・天気は次第に回復し道の駅東和に着いた時は青空から太陽が照りつけ、舗装の駐車場が灼熱の地獄になっていた。暑くて我慢できないので駐車場を避けて土の広場に車を止めた。外気温は31℃、じっとしていても汗が噴き出す。



・夕食はレストランで。
生ビールに冷や奴と手羽先が旨い。

・昨夜はフェリーに乗るので徹夜し、今日は青森を朝出てからここ東和まで 300km 近く走って来たので疲労困憊だ。

北海道では昼は暑くても夜は気温が下がって良く寝られたが、ここでは日が暮れても気温が 30℃以上ある。エアコンを入れて車内を冷し 7 時前に寝た。

外は夕陽が沈んだばかりだ。

